# 第3回 認定こども園のあり方を考え るワークショップ 一「立地・建物の条件」—

日時: 令和5年8月19日(土) 10:00~

場所:西伊豆町中央公民館

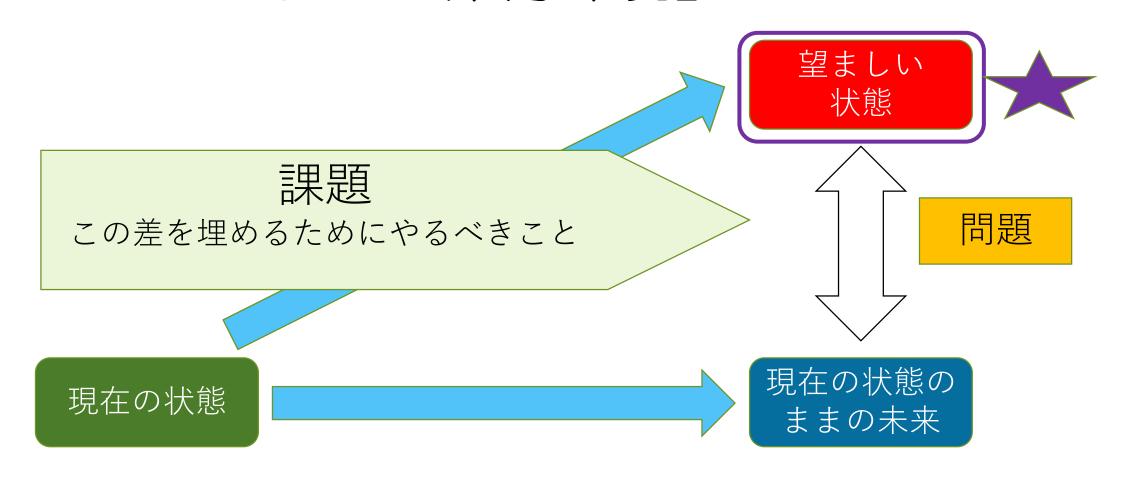
ファシリテーター:静岡大学教育学部 島田 桂吾

#### 引っ越しのとき・・・

- 1. 「理想的な生活」を想像する
- 2. 「現在の生活」の長所・短所を書き出す
- 3. 「立地・建物の条件」を決める
- 4. 「候補地」を比較検討する
- 5. 「候補地」を決定する



## 第1回「望ましい保育環境」



### 〇「小学校までに身に付けてほしい力」

自分と向き合う力

【例】

自律(立)(自分のことは自分でする)遊びを楽しむ、生活習慣、好き嫌い、自分のペース、

|| 人と関わる力

【例】

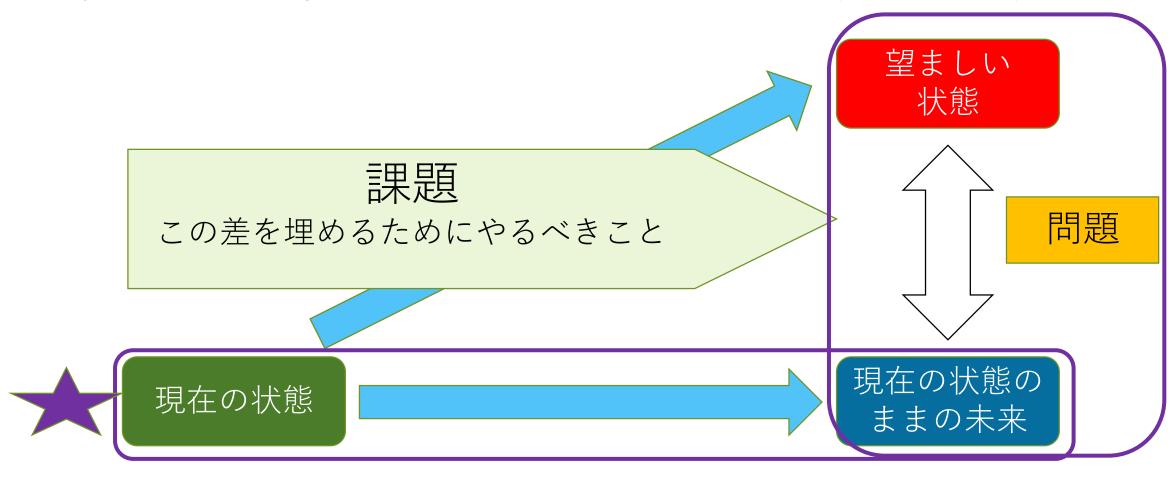
あいさつ、コミュニケー ション、協働遊び、いじ めをしない、聞く力 地域で活かす力

【例】

ルールがわかる、郷土を 愛する、高齢者と交流で きる、津波から逃げる

自尊心(仮訳:ありのままの自己を尊重し受け入れる)

### 第2回「現在のこども園の長所・短所」



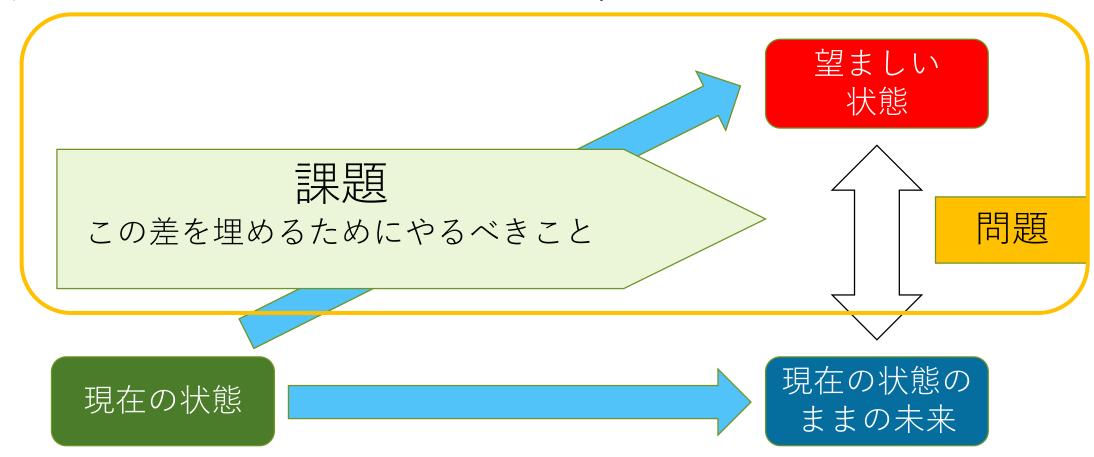
### 第2回「現在のこども園の長所・短所」

	長所	短所
内容	<ul><li>・将来像を見据えた保育計画</li><li>・集団の関わりを活かした保育</li><li>・地域との交流</li><li>・園を超えた同年齢集団の交流</li></ul>	<ul><li>・少人数であり活動の幅が狭い</li><li>・競り合うことの不足</li><li>・集団遊びが成り立たない</li><li>・職員確保が困難</li></ul>
安全	・毎月の避難訓練の充実	・津波浸水区域に立地している ・屋上スペースが狭い(仁科) ・神社の石垣が崩れた場合の対応(いづみ) ・自分で避難できない子への対応の限界

#### 【意見として出された提案】

- ○こども園を津波浸水区域外に移しては? (できるだけ早く!)
- ○こども園を1つに統合しては?
- ○「現在のこども園」のさらなる安全対策の充実

# 第3回「立地・建物の条件」



### 第3回「立地・建物の条件」

ワーク1 こども園の「立地」の条件 ☆「『津波浸水想定区域外』を前提とする」ことの是非

★第4回は具体的な「候補地」の協議に入りたい

#### ワーク1「立地の条件」

(1) 「望ましい保育環境」の観点をふまえ、こども園の「立地」 について「考慮すべきこと」を付箋に書いてください。

(2) こども園を「津波浸水想定区域外へ移すこと」についてグループで協議し、可能であれば「賛成or反対」をまとめてください。

#### 【進め方】

- ①1つの付箋に「1つ」書く
- ②書いた付箋を模造紙に「理由」を述べながら貼る
- ③関連がありそうな意見をいくつかのグループにまとめる。可能であれば「小見出し」をつける
- ④全体に向けて発表する方を決める

# ワーク2「建物の条件」①

(1)「望ましい保育環境」の観点をふまえ、こども園を「統合すること」について①良いと思うこと、②課題だと思うことを付箋に書いてください。

(2) こども園を「1つに統合すること」についてグループで協議し、可能であれば「賛成or反対」をまとめてください。

#### 【進め方】

- ①1つの付箋に「1つ」書く
- ②書いた付箋を模造紙に「理由」を述べながら貼る
- ③関連がありそうな意見をいくつかのグループにまとめる。可能であれば「小見出し」をつける
- ④全体に向けて発表する方を決める

# ワーク3「建物の条件」②

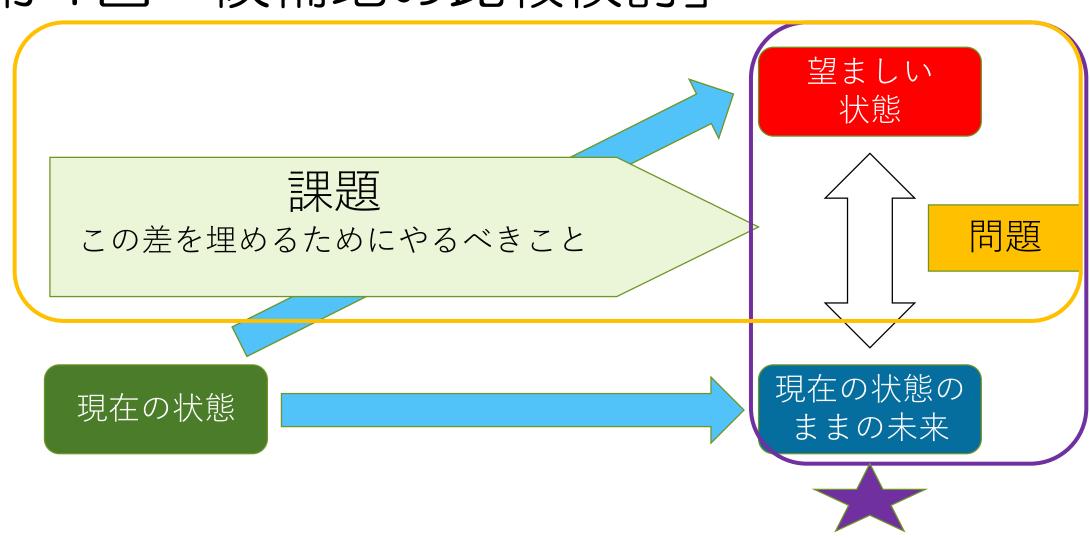
(1)「望ましい保育環境」の観点をふまえ、こども園に「小・中学校と併設すること」について①良いと思うこと、②課題だと思うことを付箋に書いてください。

(2) こども園を「小・中学校と併設すること」についてグループで協議し、可能であれば「賛成or反対」をまとめてください。

#### 【進め方】

- ①1つの付箋に「1つ」書く
- ②書いた付箋を模造紙に「理由」を述べながら貼る
- ③関連がありそうな意見をいくつかのグループにまとめる。可能であれば「小見出し」をつける
- ④全体に向けて発表する方を決める

#### 第4回「候補地の比較検討」



# 宿題を出します

○本日の要望①~③で合意した事項を 満たす「候補地」を考えてください。

様式:自由(一応フォーマット有り)

期日:9月4日(月)

場所:西伊豆町教育委員会